

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社

## Volocopter GmbH との 「空飛ぶクルマ」事業に関する業務提携について

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（社長：柄澤 康喜）傘下の三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之、以下「三井住友海上」）は、「空飛ぶクルマ」※<sup>1</sup>を開発するドイツの Volocopter GmbH（CEO：Florian Reuter、以下「ボロコプター社」）との業務提携に合意しました。三井住友海上は、ボロコプター社が業務提携する初めての日本企業となります。

ボロコプター社は、シンガポールやドバイ等でのデモフライトに成功し、「空飛ぶクルマ」における欧州航空安全庁（EASA）の認証※<sup>2</sup>を取得するなど、順調に機体開発を進めています。また、国際的なパートナーとの協業により輸送サービスの提供、航空管制、離発着場の開発・運営、機体メンテナンス等も含めたエコシステムの構築を目指しています。

三井住友海上は、ASEAN10カ国で元受事業を展開しているネットワークを活用し、アジア地域での「空飛ぶクルマ」事業に関する提携先として、ボロコプター社の実証実験に参画するなど、「空飛ぶクルマ」の機体やオペレーションに関するノウハウを収集し、商品・サービスの開発につなげていきます。

※<sup>1</sup> 「電動」・「垂直離着陸」・「自動飛行」等による次世代エアモビリティをいいます。

※<sup>2</sup> 垂直離発着機に関し、EASAの認証（DOA:Design Organisation Approval）を取得しました（2019年12月）。当該認証を取得したのは、ボロコプター社が初めてです。

### 1. 「空飛ぶクルマ」の動向

「空飛ぶクルマ」は、輸送サービスや災害時の移動・物資輸送手段として注目されており、世界各国の大企業やスタートアップが機体開発を行い、さまざまな業界が投資するなど、実用化の動きが進んでいます。

また、日本でも官民協議会が設立され、「空の移動革命に向けたロードマップ」が策定されたほか、複数の自治体が「空飛ぶクルマ」の活用方針を掲げるなど、その動きが加速しています。

### 2. 業務提携の目的

MS&ADグループは、米国シリコンバレーに設立したコーポレートベンチャーキャピタル「MS&AD Ventures」を通じて、シナジー効果を期待できる海外スタートアップを積極的に発掘してきました。

今回、こうした活動を通じて、三井住友海上は「空飛ぶクルマ」事業の開発で先行するボロコプター社と提携し、具体的なオペレーション経験に関するノウハウを収集します。これにより、「空飛ぶクルマ」の特徴をふまえた商品・サービスの開発を進めます。

また、本業務提携を通じて得たノウハウの提供や「空飛ぶクルマ」に対応した商品・サービスの開発により、都市での迅速・快適な移動（渋滞問題の解決等）、中山間地域での移動手段の確保、災害時の利活用等、「空飛ぶクルマ」を活用した社会課題の解決に貢献していきます。

### 3. ボロコプター社の概要

会社名	Volocopter GmbH
本社所在地	Zeiloch 20, D-76646 Bruchsal, GERMANY（ドイツ・ブルッフザール）
代表者	CEO Florian Reuter
設立年	2011年
主な事業内容	「空飛ぶクルマ」のサービス開発、パートナー企業とのエコシステムの構築（機体開発、輸送サービスの提供、航空管制、離発着場の開発・運営、機体メンテナンス等）
オフィシャルサイト	<a href="https://www.volocopter.com/en/">https://www.volocopter.com/en/</a>

以上